

# ふれあい



当院のリハビリテーション技術科(甲山篤代表)の論文「日本語版Coma Recovery Scale—Revisedの開発と信頼性・妥当性の検討」が浜松市医療奨励賞を受賞しました。  
※感染症予防管理対策を行い撮影時のみマスクを外しております。

## 目次

- ①総合アレルギー外来開設について
- ②面会禁止について
- ③オンライン面会開始しました
- ④市民公開講座WEB配信について



発行：浜松医療センター  
〒432-8580 浜松市中区富塚町328  
TEL 053 (453) 7111  
URL <https://www.hmedc.or.jp>

ご自由にお持ちください



## オンライン面会開始しました

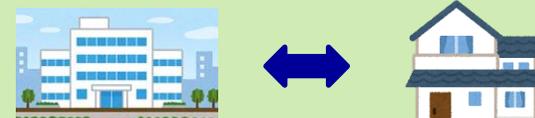
入院中、患者・家族の皆様安心して過ごしていただくため、病院のiPadを利用したオンライン面会を開始しました。

### 面会方法

#### FaceTime対応スマートフォン等をお持ちでない方



院内 ↔ 院内  
FaceTime対応スマートフォン等をお持ちの方



院内 ↔ 院外

### 面会時間

平日の 10:00-11:30、14:00-16:30  
の時間帯で**15分間**

### 申し込み方法

※申込からご連絡まで3営業日程度要します。  
余裕をもってお申し込みください。

①専用フォームからオンライン面会を申込

➡ **24時間いつでも申込可能**

下記URLまたはQRからフォーム入力

<https://req.qubo.jp/hmedc/form/i46a6406>



②電話にてオンライン面会を申込

➡ 平日、8:30-17:00の間に、  
代表電話(053-453-7111)を通じて入院病棟に、電話にて申込



## 面会禁止について

令和4年1月7日から面会禁止としています。  
入院患者さんが安心して治療に専念出来る環境維持のため、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

下記に該当する場合のみ、面会可能とさせていただきます。  
・急変時や緊急時など当院から来院をお願いした時  
・入院時、退院時、病状の説明、手術・検査当日など  
・重篤な状態の患者様や小児患者様の付添など面会許可証を発行されているご家族  
※上記以外の面会はお控えください。面会時は原則1名まででお願いします。

### 荷物(洗濯物等)の受け渡しについて

#### ○受け渡し可能時間

月曜日から日曜日 午後2時から午後4時までの間

※正面玄関で入館記入票に記入し、入館許可証を着用のうえ、病棟ナースステーションまでお持ちください。  
※直接、患者さんへ受け渡しはできません。病棟で病棟スタッフが行います。病室へも入れません。  
※荷物の受け渡しは、原則1名でお願いします。



感染状況により、変更する場合がありますので、面会についての最新の情報は右記QRからご確認ください。



## 市民公開講座WEB配信について

浜松医療センター第35回市民公開講座「よくわかる!ロボット手術～体に優しい手術・腹腔鏡手術も含めて～」をWEB配信します。今回は、手術支援ロボット「ダヴィンチXi」によるロボット手術を中心に、腹腔鏡手術など体に優しい手術をテーマに医師および臨床工学技士が詳しく解説します。

### 【視聴方法】

当院ホームページの公開講座のページから、ご覧いただけます。

### 【視聴期間】

令和4年2月28日から令和4年4月30日(予定)



公開講座へのページ右記QRから

# 総合アレルギー外来開設について

総合アレルギー外来(成人)では、地域のアレルギー患者のニーズにこたえるため、呼吸器内科、皮膚科、耳鼻いんこう科、眼科、消化器内科、膠原病リウマチ内科、小児科など、アレルギー専門や各科のエキスパートが連携協力し診療を行います。

## 重症喘息への治療、呼吸器

### アレルギー疾患の診断と治療



呼吸器内科部長  
佐藤 潤

気管支喘息の患者さんには、喘息ガイドラインに準じた適切な治療を行っています。精密検査(呼吸機能検査、呼気中NO測定、吸入アレルゲン検索など)も必要に応じて行ってまいります。重症喘息に対する積極的な抗体製剤の導入を行っており、劇的な効果が得られている患者さんも数多くみられます。好酸球性肺炎、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症、アレルギー気管支肺真菌症などのアレルギー性呼吸器疾患の診断も積極的に行っています。



呼吸器内科医長  
小笠原 隆

#### <対象となる主な患者さん>

- ・気管支喘息(成人) ・好酸球性肺炎
- ・好酸球性多発血管炎性肉芽腫症(EGPA)
- ・アレルギー性気管支肺真菌症(ABPM)
- ・過敏性肺臓炎

## 皮膚アレルギーの治療



皮膚科部長  
三澤 淳子

アトピー性皮膚炎の治療はスキンケア指導、外用療法を軸に、抗ヒスタミン剤、重症な場合は免疫抑制剤や生物学的製剤(抗体医薬)の導入を行います。蕁麻疹では抗ヒスタミン剤で改善しない難治な場合に生物学的製剤(抗体医薬)を導入しています。

#### <対象となる主な患者さん>

- ・アトピー性皮膚炎 ・蕁麻疹 ・薬疹

## 消化器の関連

成人でみられる食物アレルギーに関連した疾患として、好酸球性食道炎・好酸球性胃腸炎という疾患が近年増加しており、嚥下障害・胸やけ・腹痛・下痢などの症状があります。消化器内視鏡検査を中心に適切な診断と治療をすすめていきます。

#### <対象となる主な患者さん>

- ・好酸球性食道炎 ・好酸球性胃腸炎



内視鏡科部長  
栗山 茂

## 総合アレルギー外来開設

気管支喘息、アトピー性皮膚炎、食物アレルギー、アレルギー性鼻炎などの疾患は罹患率が高い疾患です。複数のアレルギー疾患を合併している方、アレルギー疾患の重症・難治例の方、診断に至っていない疾患にアレルギーが関与している方も存在し、専門性のある総合的な診療が望まれます。**”アレルギー専門医や各科のエキスパートが連携協力し診療を行います。”**

#### <対象となる主な患者さん>

- ・アトピー性皮膚炎 ・気管支喘息
- ・食物アレルギー ・アレルギー性鼻炎・薬剤アレルギー

## 好酸球増多症、不名熱、炎症性疾患の鑑別



膠原病・リウマチ内科部長  
高取 宏昌

近年、当科で診療するアレルギー性疾患や炎症性疾患に対しては、従来の免疫抑制療法だけでなく、生物学的製剤や分子標的治療薬が適応となり治療成績が飛躍的に向上しています。そのため、当科ではこれらの疾患に対してなるべく早期の診断と適切な治療の導入を心がけています。また、他科と協力し、好酸球増多症、不明熱、炎症性疾患などの鑑別も行っています。

#### <対象となる主な患者さん>

- ・好酸球性多発血管炎性肉芽腫症 ・好酸球性血管性浮腫
- ・好酸球増多症候群 ・IgG4関連疾患
- ・全身性自己免疫疾患(成人) ・自己炎症性疾患(成人)

## 小児科の関り



小児科 医長  
坂井 聡

アレルギー専門医・指導医2名が、食物アレルギー・アトピー性皮膚炎・気管支喘息・アレルギー性鼻炎の治療を行っています。食物アレルギーは、経口負荷試験、経口免疫療法、栄養指導を行っています。アトピー性皮膚炎・気管支喘息は、ガイドラインを基に個々の患者さんの生活の質(QOL)を重視したオーダーメイドの治療を心がけています。さらに、アレルギー性鼻炎の患者さんに対して、舌下免疫療法と皮下免疫療法を行っています。

#### <対象となる主な患者さん>

- ・食物アレルギー・アトピー性皮膚炎・気管支喘息
- ・アレルギー性鼻炎・アナフィラキシー

## 鼻・耳・喉のアレルギー治療



花粉症を代表とするアレルギー性鼻炎は、くしゃみ、鼻水、鼻づまり等の症状が出るため日常生活に支障がでます。必要な検査を行い内服薬や点鼻薬の治療、抗体医薬、減感作療法、手術治療など患者さんそれぞれの病態に応じた適切な治療を行います。また、難治性の好酸球性副鼻腔炎や好酸球性中耳炎の診断と治療を行います。その他、慢性咳嗽の原因となりうる咽頭アレルギーや食物アレルギーのひとつである口腔アレルギー症候群についても適切な診療科と連携して診断します。



耳鼻いんこう科  
医長 加藤 照幸

#### <対象となる主な患者さん>

- ・アレルギー性鼻炎 ・好酸球性副鼻腔炎
- ・咽頭アレルギー・好酸球性中耳炎 ・口腔アレルギー症候群

## 複雑なアレルギー性眼疾患をカバーする多様な治療選択肢



アレルギー性眼疾患には、季節性および通年性アレルギー性結膜炎といった非増殖性疾患と、春季カタルおよびアトピー性結膜炎といった増殖性疾患があります。後者は難治性の角膜潰瘍や、白内障・網膜剥離を併発することがあります。非増殖性疾患に対しては抗アレルギー点眼薬、ステロイド点眼薬の処方を行います。増殖性疾患に対しては抗アレルギー点眼薬、ステロイド点眼薬に加えて免疫抑制点眼薬の処方を行います。点眼治療に抵抗性の症例に対しては、ステロイド内服や結膜増殖組織切除術を行います。合併した白内障・網膜剥離に対しては白内障手術、硝子体手術を行います。



眼科 医師  
磯貝 正智

#### <対象となる主な患者さん>

- ・アレルギー性鼻炎 ・アレルギー性眼瞼皮膚炎
- ・アトピー性角結膜炎 ・春季カタル